

IR HANDBOOK

第74期

第2四半期のご報告

2022.4.1—2022.9.30



私たち松田産業は、限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献します

貴金属関連事業

VISION / “資源循環(活用)を創造するリーディングカンパニー”

セグメント従業員数 **1,199**名
2022年9月30日現在

事業の成り立ち

ルーツ: 1935年、フィルムなど写真感光材料から銀の回収・製錬を開始



銀の製造は金、白金族の貴金属事業へと展開。定着液や現像液の処理を伴うことから、環境事業としても発展

価値創造フロー

松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.



分析/前処理/製錬/精製 無害化中間処理

回収



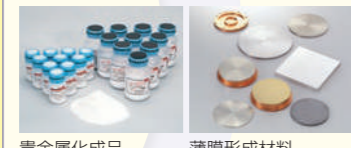
貴金属回収装置 収集運搬用車両

商社等



貴金属地金

加工/販売



貴金属化成品 薄膜形成材料

エレクトロニクス業界等



貴金属含有スクラップ

廃酸・廃アルカリなど

貴金属事業の概要

- ・貴金属回収製錬、貴金属材料・製商品の製造販売および薄膜形成装置治具の洗浄を展開
- ・エレクトロニクス、宝飾、歯科、触媒業界などが主要顧客

貴金属事業の強み

- ① 安定的なサプライチェーンに貢献する循環型ビジネスモデル、高純度の貴金属を精製する高度な技術、一貫した貴金属リサイクルシステムを提供
- ② 東アジアで展開する貴金属原料集荷と貴金属材料・製商品供給のネットワーク
- ③ 高度なリサイクル技術から生み出された貴金属地金ブランドへの信頼
- ④ 治具の再生とともに、貴金属を回収しリサイクルする精密洗浄

環境事業の概要

- ・廃酸、廃アルカリ、廃油、汚泥、廃プラなど産業廃棄物の収集運搬、無害化処理および資源リサイクルを展開
- ・エレクトロニクス、化学・製薬業界、医療機関等が主要顧客

環境事業の強み

- ① 産業廃棄物の無害化処理技術と有効利用で、お客様のゼロエミッション達成に向けた効率的な再資源化リサイクルに貢献
- ② 全国をカバーする国内屈指の収集運搬リサイクルネットワーク

貢献できる社会的課題: SDGs



当社グループは、限りある資源である貴金属をリサイクルして有効活用する貴金属事業およびきれいな環境を次世代に引き継ぐ環境事業を総合した「貴金属関連事業」と、地球の豊かな恵み、食資源を安定的に供給し人の豊かさにつなげる「食品関連事業」の2つの事業を展開しています。

食品関連事業

VISION / “お客様の商品開発のベストパートナー”

セグメント従業員数 **265**名
2022年9月30日現在

事業の成り立ち

ルーツ: 1948年、食品加工メーカーのマヨネーズ製造過程で不要となった卵白を、かまぼこなど練り製品業界向けに販売



魚肉すりみをはじめとした水産品や農産品・畜産品の取り扱いへと拡大



食品関連事業の概要

- ・欧米・アジア・南米など世界各地にネットワークを広げ、安全・安心な食材(水産品・畜産品・農産品など)を調達
- ・練り製品やハム・ソーセージ、冷凍食品等の加工食品メーカーや、製菓・製パンメーカー、外食・中食業界が主要顧客

食品関連事業の強み

- ① 魚肉すりみ、エビ、イカ、タコ、貝、卵、チキン、ポーク、ビーフ、乾燥野菜、冷凍野菜など、多種多様な食材を現地法人も活用したグローバルな調達ネットワークで提供
- ② ニーズに沿った産地や加工事業者を提案し、ユーザーが使いやすい形態やロットに最適技術で現地加工した食材を調達
- ③ 品質保証室による技術指導、品質規格書の発行、トレーサビリティの実施等により、当社ならではの「安全・安心」の差別化
- ④ サプライチェーン全体管理による食材の安定供給

貢献できる社会的課題: SDGs



価値創造フロー

商品仕入

品質管理 技術指導

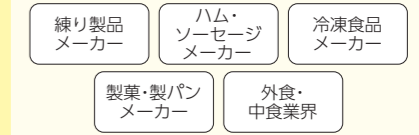
商品販売



仕入先/取扱商品



お客様





激しい環境変化に適応し、 進化し続けるとともに、 持続的な成長と 企業価値向上に向けた 取り組みを強化していきます。

代表取締役社長 松田 芳明

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社の2023年3月期第2四半期(2022年4月1日～2022年9月30日)のIR HANDBOOKをお届けいたします。

本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

Q 2023年3月期第2四半期の業績と配当についてお聞かせください。

当第2四半期の世界経済は、景気に緩やかな持ち直しが見られたものの世界的なインフレやサプライチェーンの制約等を受けた供給面での混乱から、下振れリスクへの懸念が続きました。国内では、急激な円安による仕入コストの増大や中国のゼロコロナ政策等の影響によって生産活動や個人消費に停滞が見られるなど、予断を許さぬ状況で推移しました。

こうしたなか貴金属関連事業では、資源リサイクルの総合力や高機能電子材料の開発等による差別化のもと、営業展開の強化と国内外の生産拠点活用を進め、貴金属原料の確保や化成品等の製商品販売、産業廃棄物処理受託の拡大に努めました。その結果、貴金属リサイクルの取扱量と産業廃棄物の処理受託が増加したほか、金・銀・白金族製品等の販売量増加に加え金などの貴金属相場が上昇し、増収増益となりました。

食品関連事業では、世界的な食資源の供給不安や仕入価格の上昇等に柔軟に対処し、多様化する顧客ニーズに応えた商品開拓と安全・安心な商品の安定提供による拡販に注力しました。その結果、水産品、農産品の販売量が増加し、販売単価も総じて上昇した一方、運送費や保管料等の増加により増収減益となりました。

以上により、当社の2023年3月期第2四半期累計の連結業績は、売上高は前年同期比29.4%増の1,760億4百万円、営業利益は同9.4%増の79億53百万円、経常利益は同3.7%増の81億28百万円、親会社株主

に帰属する四半期純利益は同3.0%増の56億34百万円となりました。第2四半期末の配当金については、業績および経営環境等を総合的に判断した結果、2022年5月に公表した配当予想から1株当たり1円増額の25円といたしました。また、2023年3月期の期末配当についても25円を予想し、年間配当は前期から4円増配の50円とする予定です。

Q 2023年3月期通期の見通しと、足元の事業環境について教えてください。

2023年3月期通期の業績予想は、第2四半期までの貴金属関連事業、食品関連事業の双方における販売量の増加等を踏まえ、本年11月10日に売上高を上方修正いたしました。しかしながら第3四半期以降については、貴金属関連事業の主力顧客である半導体・電子デバイス業界での生産・在庫調整等により貴金属リサイクルの取扱量の減少が見込まれるほか、食品関連事業についても円安や物価上昇によるコスト増大が予想されるなど、依然として下振れリスクが高いとみており、利益面では据え置きとしています。今後も激しい市況変化に柔軟に適応し、顧客ニーズを的確に捉えた事業展開を進めていきます。

Q 各セグメントの重点施策と、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当期からスタートした中期経営計画のもと「資源循環

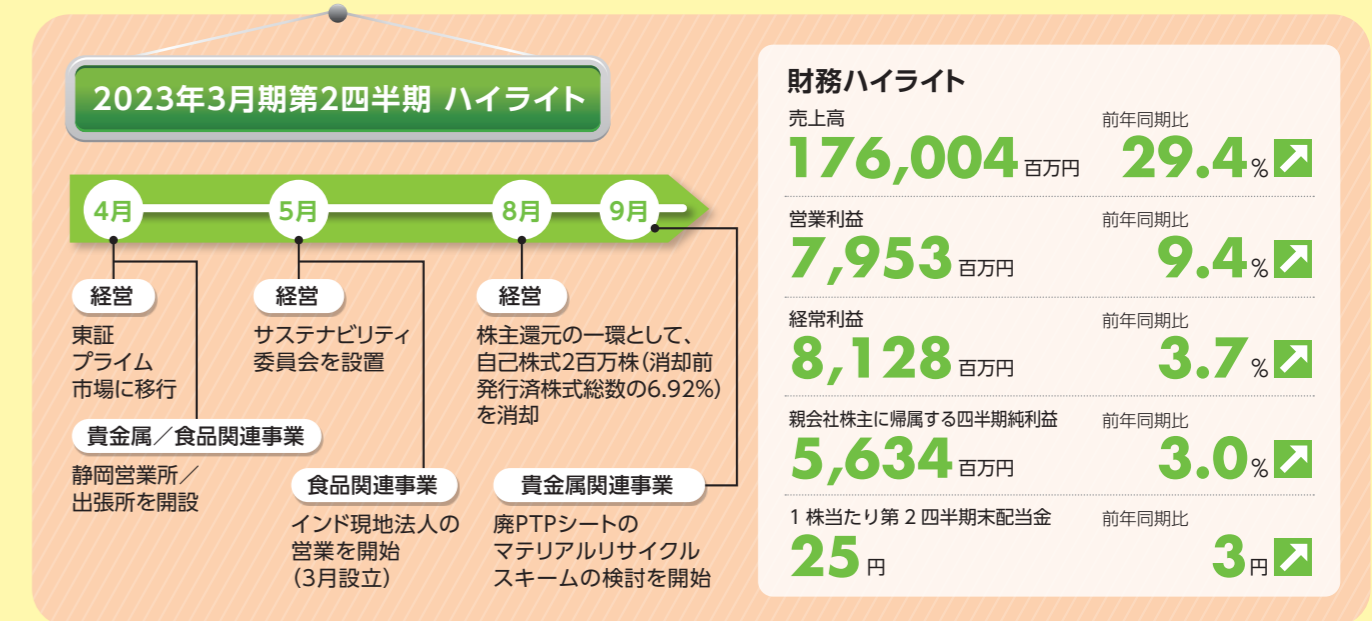
(活用)を創造するリーディングカンパニー」をビジョンとして掲げる貴金属関連事業では、国内シェアの拡大と海外の新たな市場開拓に取り組んでいます。本年9月、大同樹脂株式会社と技術提携し、製薬業界等の脱炭素化や資源循環のさらなる促進へ向けた新たなリサイクルスキームの構築を始めました。今後もリサイクル品目の拡大に向けた取り組みを通じ、環境負荷低減型の製品・サービスの提供や、高機能電子材料の開発販売等を通じた「高い環境価値」をお客様に提供し続けていきます。

「お客様の商品開発のベストパートナー」をビジョンとする食品関連事業では、食品原材料の調達網と商品ラインナップの拡充により原料販売の強化に取り組んでいます。最近では欧州産ビーフの取扱量を拡大し

本年3月にはインド現地法人を設立するなど、新たな産地開拓や販路拡大を積極的に進めています。引き続きお客様のニーズを捉えた安全・安心でサステナブルな商品開発や商流構築に取り組み、販売領域の拡大を図ります。

また、企業価値向上を支えるための経営基盤の強化や積極投資に注力していくほか、持続可能な社会の実現とESG経営の推進において、本年5月、「サステナビリティ委員会」を設置し、長期的計画に基づいたサステナビリティ課題への取り組みに対して取締役会の監督機能を強化しました。

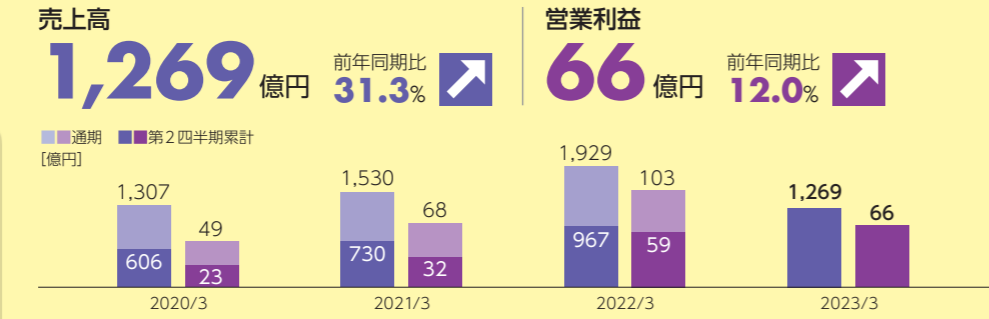
株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



貴金属関連事業

2023年3月期第2四半期の業績

主力顧客であるエレクトロニクス業界は、半導体不足や中国のゼロコロナ政策等の影響から自動車・スマートフォンの生産が停滞したものの、データセンター需要等に支えられ堅調に推移しました。こうしたなか、貴金属リサイクルの取扱量や産業廃棄物の処理受託は増加し、金・銀・白金族製品等の販売量増加に加え金などの貴金属相場の上昇もあり、売上高および営業利益は増加しました。



通期の見通しと施策
半導体・電子デバイス業界における在庫調整など今後の下振れリスクを背景に貴金属リサイクルの取扱量や化成品等の販売量が当初見通しを下回る見込みであるものの、中期経営計画のもと、積極投資の継続と収益基盤強化、新規収益源の創出により競争力を高めていきます。

NEW MARKET DEVELOPMENT

製薬業界等の脱炭素化への貢献に向けて、新たなリサイクルスキームを構築

本年9月、大同樹脂株式会社と技術提携し、医薬品の錠剤の包装等に用いられるPTP (Press Through Pack) シートのマテリアルリサイクル*スキームへの取り組みを開始しました。廃棄物処理施設として「PTPのアルミ箔とプラスチックフィルムの分離」に特化した破碎分離設備を当社の関第二工場に導入し、当社の廃棄物への知見や機能と、大同樹脂株式会社の破碎・分離技術を融合することで、焼却処理を伴わず、CO₂を発生させないリサイクルスキームの構築を目指します。既に多くの製薬メーカーから高い注目を集めているほか、コンデンサメーカーから排出されるPETフィルムなど他業界のニーズにも応用し、さらなる国内資源の循環を促進していきます。



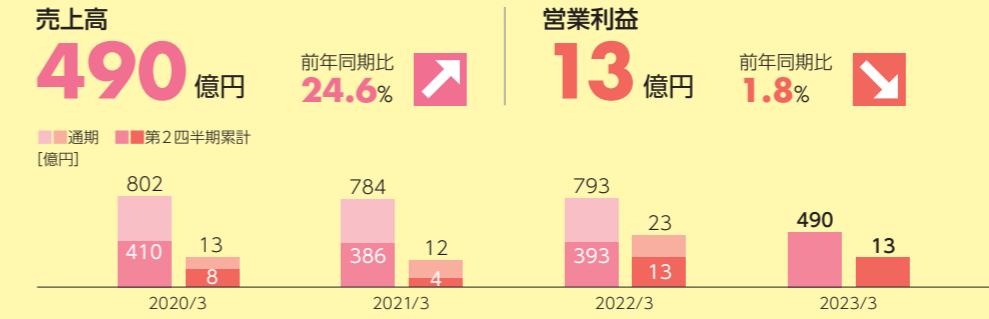
*廃棄物を新たな製品の原料として再利用するリサイクル方法
事業担当 環境ソリューション事業部 村山達哉 (2017年入社)



食品関連事業

2023年3月期第2四半期の業績

主力顧客である食品製造業界は、新型コロナウイルス感染症拡大による行動制限等の解除により外食産業をはじめ持ち直しが見られたものの、原材料価格の上昇や急激な円安進行等に伴う値上げ発表によって消費者の節約志向が続き、総じて厳しい状況で推移しました。こうしたなか、水産品、農産品の販売量の増加や販売単価の上昇により売上高は増加した一方、運送費や保管料の増加により営業利益は減少しました。



通期の見通しと施策
今後も物価上昇に伴う個人消費の鈍化傾向が続くことが予想されますが、事業環境の変化に対処しながら、安全・安心・安定供給を根本に据えた商品の開拓・提供等による差別化と、海外拠点の活用を含め顧客ニーズを的確に捉えた営業活動によって販売数量を拡大し、収益の確保を図ります。

EXPAND GLOBAL NETWORK

新たな産地開拓、仕入先と連携し環境・社会課題にも配慮



北アイルランドの農場

食品関連事業では、2010年代から欧州産の牛肉輸入が順次解禁されるなか、当社は早期から現地仕入ネットワークの構築に向けた活動を始め、2018年以降、欧州産牛肉の取扱量を年々拡大しています。なかでも環境・社会課題やサステナビリティ活動に早くから取り組んでいる英国・Foyle Food Group社との連携を深めており、当社の食品関連事業におけるSDGsへの取り組み強化にもつながっています。また英国との取引増加を受けて、英国大使館後援の外食フェアにも協賛し、当社の取り扱うビーフが採用されました。今後も、企業理念にある「地球資源の有効活用」を念頭においたグローバルネットワークを構築し、より幅広い顧客層に高い付加価値を提供していきます。

食品関連事業



グローバルネットワーク — 調達先 —

北米地域	魚肉すりみ / 冷凍野菜 / 乾燥ポテト / 乾燥卵 / ポーク / ビーフ
南米地域	チキン / ポーク / イカ
オセアニア地域	ビーフ / 冷凍野菜
アジア地域	魚肉すりみ / エビ / イカ / タコ / アサリ / カニ / チキン / 冷凍野菜 / 乾燥卵 / 乾燥ポテト
ヨーロッパ地域	ポーク / ビーフ / 乾燥卵 / 冷凍野菜

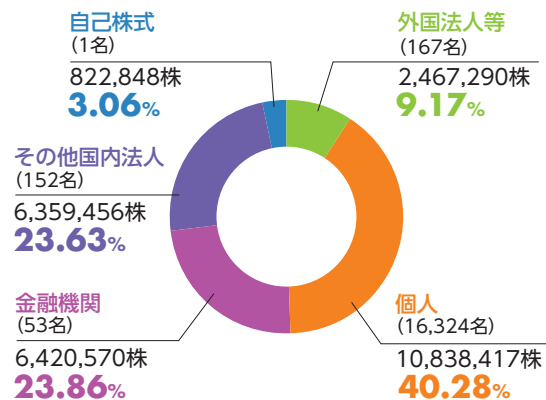
会社概要 (2022年9月30日 現在)

商号	松田産業株式会社
本社所在地	東京都新宿区西新宿1-26-2
設立年月日	1951年6月18日
資本金	3,559百万円
従業員数 (連結)	1,544名
主な事業内容	貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、食品加工原材料の卸売、産業廃棄物の収集・運搬・処理
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人

株式の状況 (2022年9月30日 現在)

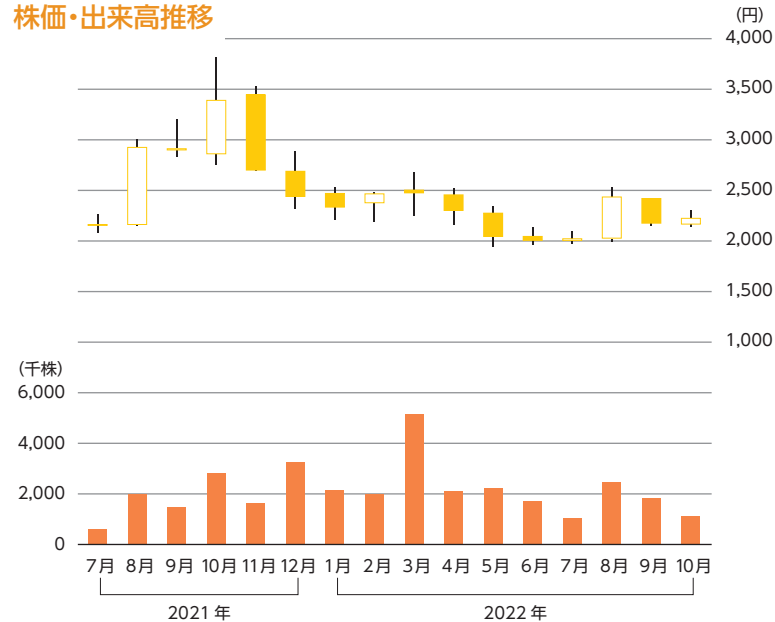
株式の総数	40,000,000株
発行済株式総数	26,908,581株
株主数	16,697名

所有者別分布状況 (2022年9月30日 現在)



- (ご注意)
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株価・出来高推移



大株主 (2022年9月30日 現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
松田物産株式会社	3,470,649	12.89
松田芳明	3,308,265	12.29
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,249,900	8.36
松田邦子	1,203,740	4.47
明治安田生命保険相互会社	931,700	3.46
松田和子	763,796	2.83
對馬純子	763,758	2.83
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	672,300	2.49
住友生命保険相互会社	665,500	2.47
エム企画株式会社	479,000	1.78

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711 (通話料無料) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主優待

1 対象株主

毎年3月31日現在、当社株式を1年以上継続して、1単元(100株)以上保有する国内在住の株主様を対象といたします。

※なお、1年以上継続保有の株主様とは、同じ株主番号で3月31日および9月30日現在の株主名簿に3回以上連続で記載または記録された株主様です。

2 優待の内容

一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。



3 贈呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。

ホームページのご案内

松田産業

検索

トップ画面

当社の事業や強み、最新の取り組みをご紹介します。ぜひ、ご覧ください。



証券コード:7456

東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル
Tel. 03-5381-0001 (代表)

